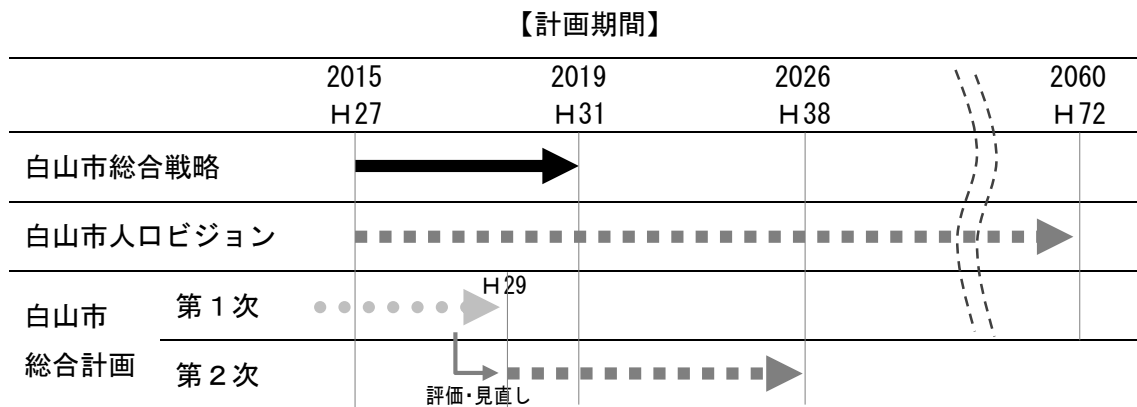


1. 趣旨

これまでのまちづくりにおける基本的な考え方や国が示す政策5原則（自立性、将来性、地域性、直接性、結果重視）を踏まえ、中長期的な将来展望を見据えつつ、具体的かつ実効性のある施策・事業を展開することにより、「まち」「ひと」「しごと」を創生することで、人口減少や少子高齢化の進行による地域経済や地域社会の縮小を克服することを目指しており、国連が提唱する「SDGs（持続可能な開発目標 Sustainable Development Goals）」と合致するものである。このSDGsの理念に基づき、これらの取り組みを進めることにより、SDGsの持続的発展（Sustainable Development）の実現を目指すものである。

2. 総合戦略の期間

本戦略の計画期間は、平成 27（2015）年度～平成 31（2019）年度の5か年とする。



3. 4つの基本目標

国の総合戦略における4つの基本目標を踏まえつつ、白山・手取川・日本海を軸とする本市の地域特性や目指す将来展望を勘案し、総合戦略の4つの基本目標を定める。

- 基本目標 1** 商工業の集積と農林水産資源を活かした
「仕事・雇用」創生戦略
- 基本目標 2** 白山から日本海の豊かな自然と歴史・文化を活かした
「観光・交流」創生戦略
- 基本目標 3** 安心して子どもを産み育てられる
「子育て・教育」創生戦略
- 基本目標 4** 平野部と白山ろく地域の安全・安心な暮らしを守りつなぐ
「都市・地域」創生戦略

4. 施策の基本的方向と成果指標など

1 商工業の集積と農林水産資源を活かした「仕事・雇用」創生戦略

既存の産業基盤を活かすとともに、伝統産業や商店街の活性化、中小企業などの育成・支援のほか、新たな創業を支援し、多様で付加価値の高い産業の集積を促進することで、新しい「しごと」（雇用）の創出を図り、市民（特に若者）の働く場の確保と安心して働ける環境の創出を目指す。

<施策の基本的方向と具体的な取り組みの方向>

(1) 市内中小企業の振興による雇用機会の創出と創業支援

①中小企業の育成及び競争力強化／②創業支援の推進／③中心商店街の活性化

(2) 白山の恵みである農林水産資源を活かした仕事の充実・創造

①農林水産物の販売促進及び付加価値の向上

②新たな地域特産品の開発及び販売促進／③担い手の確保及び生産基盤の充実

(3) 大都市からの人材還流を見据えた企業誘致の推進

①新たな雇用の創出に向けた企業誘致の推進

②市内企業等における就労の拡大と人材の確保

<成果指標>

成果指標	基準値 (H26)	目標値 (H31)
市内従業者数	53,673人	55,400人

2 白山から日本海の豊かな自然と歴史・文化を活かした「観光・交流」創生戦略

本市が有する地域資源にさらなる磨きをかけ、白山ブランドの確立を図るとともに、積極的なシティプロモーションの推進による観光・交流人口の拡大および多様な人材の受け入れ態勢を整備することにより、新しい「ひと」の流れを創出し、転入者の増加と転出者の縮減を目指す。

<施策の基本的方向と具体的な取り組みの方向>

(1) 移住・定住を支える事業・制度の充実

①移住・定住施策の推進／②受け入れ態勢の強化及び情報発信

(2) 山・川・海の魅力を活かした交流人口の拡大

①地域資源を活かしたイベントの開催

②交流拠点となる施設の整備／③地域の魅力の向上と発信

④白山総合車両所等の活用と豊富な資源による観光振興と産業振興の強化

(3) 地元大学等の充実と学生の定着化の促進

①市内・県内での進学や就職の促進／②大学と地域や企業等との連携の強化

<成果指標>

成果指標	基準値 (H26)	目標値 (H31)
人口の社会増減数	転出超過 133人	(5年間)転入超過 500人
観光入込客数	496万人	550万人

3 安心して子どもを産み育てられる「子育て・教育」創生戦略

これまでの子育て支援・教育環境向上等の各種施策を基本としながら、「ひと」の出会い・結婚・出産・子育てを切れ目なく支援するとともに、豊かな自然に触れながら、地域で子どもたちを育てる環境を整備し、子育て世代や子どもたちが本市に魅力や愛着を感じられる地域づくりを推進することにより、出生数や子育て世代の増加を目指す。

<施策の基本的方向と具体的な取り組みの方向>

(1) 妊娠・出産・子育てにおける切れ目のないサポートの充実

- ①妊娠・出産へのサポートの充実／②子育てへのサポートの充実
- ③地域での子育て環境の充実

(2) 子どもたちの教育環境の充実

- ①郷土愛・健康な心と体を育む教育の推進
- ②誰もが安心して学べる環境の整備

(3) 出会いの場の創出と定住促進

- ①結婚活動の支援／②若年層の定住に向けた支援

(4) ワーク・ライフ・バランスの改善

- ①仕事と家庭の両立の支援

<成果指標>

成果指標	基準値 (H26)	目標値 (H31)
合計特殊出生率	1.49	1.54

4 平野部と白山ろく地域の安全・安心な暮らしを守りつなぐ「都市・地域」創生戦略

本市の魅力である8つの地域特性を守りながら、将来的な人口減少及び高齢化などの時代の変化に応じて生じる課題解決に向け、地域住民が主体となり安全・安心な「まち」づくりを展開するとともに、地域間及び広域的なネットワークの強化を図り、持続可能な地域社会の構築を目指す。

<施策の基本的方向と具体的な取り組みの方向>

(1) 生活基盤の充実とストックマネジメントの推進

- ①公共交通の利便性の向上と利用促進／②既存ストックの維持管理及び更新
- ③安全で便利な生活基盤の整備

(2) 医療・福祉の充実と健康づくりの推進

- ①医療体制の充実／②健康寿命の延伸／③支え合いの体制づくり

(3) 地域の防災力向上に資する取り組みの推進

- ①地域防災力の強化／②消防・防災基盤の強化

(4) 魅力ある地域づくりとシビックプライドの醸成

- ①コミュニティ活動の促進とまちなかの賑わいの創出
- ②特色のある文化活動の振興／③美しい景観の保全と活用
- ④連携中枢都市圏の推進／⑤市民提案型まちづくりに向けた取り組み

<成果指標>

成果指標	基準値 (H26)	目標値 (H31)
住み良いと感じる市民の割合	59%	70%

5. 目標の達成に向けた重点的な取り組み

人口ビジョンで掲げる平成 72 (2060) 年に人口 10 万人の確保を実現するためには、本戦略の目標年次である平成 31 (2019) 年には概ね 109,500 人の人口を維持する必要がある。そのため、基本目標ごとに成果指標および重点的な取り組みを設定し、施策展開を図る。

基本目標 1

商工業の集積と農林水産資源を活かした「仕事・雇用」創生戦略

<重点的な取り組み>

- ◎ 6 次産業化の取り組み支援
- 創業支援の推進
- 企業誘致の推進

基本目標 4

平野部と白山ろく地域の安全・安心な暮らしを守りつなぐ「都市・地域」創生戦略

<重点的な取り組み>

- 公共交通の利便性の向上
- 空き家対策の推進
- ◎ 連携中枢都市圏の推進
- ◎ 市民提案型によるまちづくりの推進



基本目標 2

白山から日本海の豊かな自然と歴史・文化を活かした「観光・交流」創生戦略

<重点的な取り組み>

- 市外からの定住者への住宅購入費等の支援
- 土地区画整理事業による宅地の整備促進
- ◎ 白山開山 1300 年を契機とした白山ブランド確立に対する支援
- 地元大学の機能強化
- ◎ 日本版 C C R C の推進 (多世代交流・多機能型拠点の整備)
- ◎ 高等教育機関のキャンパスや研修施設設置による地域産業振興の推進

基本目標 3

安心して子どもを産み育てられる「子育て・教育」創生戦略

<重点的な取り組み>

- 子育てに関する経済的負担の軽減
- ◎ 夜間・休日小児医療の診療体制の構築
- ◎ 3 世代同居・近居の支援
- 若年層の新築住宅の購入への支援
- 新婚者への家賃補助

[凡例] ◎… 平成 27 年度からの新たな取り組み